

日野
多摩
稻城

地区 保護司会だより

第69号



稻城市の川（三沢川）

— ごあいさつ —

稻城市教育委員会教育長 杉本 真紀子



本年3月に稻城市的教育長に就きました杉本真紀子でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで、日野市では中学校の教諭を、稻城市では中学校校長、教育指導担当部長、教育委員会委員を務めさせていただき、学校教育並びに教育行政に携わる中で、会長の粟井洋子様をはじめ、日野・多摩・稻城地区保護司会の先生方には大変お世話になってきました。特に、学校教育現場においては、社会を明るくする運動、薬物乱用防止教室、稻城市地域教育懇談会等を始め、保護司会の先生方を中心に、ご指導いただく機会が多くありますが、こうした一つ一つ、お一人お一人の地道な丁寧な活動が犯罪のない地域社会実現の原点となっているものと感じております。この場をお借りして心からの敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

さて、稻城市では、「ふれあいを通じて人と文

化を育む稻城の教育大綱」を定め、「第三次稻城市教育振興基本計画 稲城市教育プラン」を策定しております。そして、本計画により、稻城市が目指す教育目標としまして、「互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間」「社会の一員として、持続発展可能な社会や地域づくりに貢献できる人間」「自ら考え判断し行動する、個性と創造力豊かな人間」「生涯にわたり学習意欲と社会参加意識を持った人間」と4つの目標を掲げてますが、新型コロナウイルス感染症やウクライナへの軍事侵攻等、社会不安が続く中で、将来を担う子ども達には、多様な人々と協働し、主体的によりよい社会を創造していく姿勢と力が求められています。そのためには、これまで以上に地域の多様な主体が協力し、子ども達が社会で活躍する力を育てることが重要です。改めまして、保護司会の皆様のこれまでの活動に感謝を申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

藍綬褒章受章



土方 喜久弘 様

(日野分区)

令和4年度春の褒章にて、藍綬褒章の栄誉に浴されたことを、お慶び申し上げます。

長年にわたる更生保護事業に寄与し、その功績が顕彰されたことと拝察いたします。おめでとうございます。



令和4年度 東京都更生保護事業 顕彰者のご紹介

令和4年11月29日に、「かつしかシンフォニーヒルズ」において、令和4年度東京更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も参加者を縮小して開催されました。日野・多摩・稻城地区保護司会の被顕彰者は別表のとおりです。被顕彰者の皆様にはあらためてお祝い申し上げます。

また、令和4年12月2日には、「ホテルエミシア東京立川」において、令和4年度多摩地区保護司会連絡協議会主催の受彰祝賀会が開催されました。日野・多摩・稻城地区保護司会では、土方喜久弘さん(藍綬褒章)、松原一郎さん(法務大臣表彰)、篠崎誠一さんと中村洋一さん(全国保護司連盟理事長表彰)が紹介されました。(総務部)



法務大臣表彰を受彰して 稻城分区 松原 一郎



令和4年11月29日(火)かつしかシンフォニーヒルズで開催された、東京更生保護事業顕彰式典参加に際し、栄誉ある法務大臣表彰を拝受して身に余る光栄に浴することができました。

思えば平成13年度コースの課程を修了し保護司に拝命。家族の協力と理解又、日野・多摩・稻城地区の保護司の皆様、諸先輩の方々、そして東京保護観察所立川支部の担当主任官の連携指導を頂き心より感謝と共に受彰拝受のお礼を申し上げます。

保護司の活動の中では、対象者と向かい合う時には、自分は冷静にと(心に決め)面接を進め、少年には信頼を保っての努力をしましたが、つい罵声を出してしまうこともあります(今ではパワハラ)ました。任期中ですので犯罪再犯防止に務め、保護司法第一条の使命を持って受彰に恥じることの無いよう保護司活動に精進していきますので、皆様の相変わらぬご鞭撻をお願い致します。

<日野・多摩・稻城地区保護司会の被顕彰者一覧>

藍綬褒章(春)	土方喜久弘
法務大臣表彰	松原 一郎
全国保護司連盟 理事長表彰	篠崎 誠一 中村 洋一
関東地方更生保護 委員会委員長表彰	津守 範学 山上 貴久 大坪 冬彦
東京保護観察所長 表彰	出沼恵美子 伊野 直美 本多英二郎 山口 慶隆
東京都保護司会 連合会会长表彰	金子 晃久 芝田晴一朗 眞木 定義 山田 英二 粕谷 静男 遠藤 明子



令和4年度 専門部の活動

研修部

部長 石川 ちづ子

<地域別定例研修テーマ>

- 第Ⅰ期 6月15日「良好措置・不良措置について」
- 第Ⅱ期 11月16日「性犯罪再犯防止プログラムを活用した処遇について」
- 第Ⅲ期 2月15日「報告書の作成について」

第Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期地域別定例研修は、観察官をお迎えして、コロナ禍以前のように対面で受講することができました。補講はありませんでしたが多くの皆様に出席していただき、対面での研修の大切さを知ることができる有意義な研修となりました。



9月21日新任保護司対象研修会は、「当地区保護司会の組織運営等について」の内容で、新任保護司2名、関係保護司12名の14名で行いました。わからないことや疑問等があった場合、毎日企画調整保護司が駐在していますので気軽にサポートセンターを利用してほしい旨伝えました。

総務部・研修部合同企画の視察研修は、5月から会議を重ね10月31日・11月1日更生保護施設「有光苑」と茨城就業支援センターへ1泊2日で実施しました。1日目視察研修先は研修部担当その後総務部担当で、研修と親睦を深めることができ宿泊研修は無事終了しました。

2月15日今年度最後の事業である地域処遇会議は、多摩連全体研修の日程調整の関係もありまして第Ⅲ期地域別定例研修終了後の開催となりました。観察所が主催する特別研修出席の4名に報告していただき研修内容を保護司会で共有することができました。

今年度は、昨年度と異なり事業計画どおりすべての事業を実施することができました。ご協力していただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

地域活動部

部長 馬場 房義

□社会参加活動を3回実施しました。

- ①6月18日（土）天候にも恵まれて、草取りと植栽を行いました。観察官と保護司26名の参加があり、皆さんとても手際良く進めて下さり、作業が無事に終わることが出来ました。
- ②10月8日（土）京王線稻城駅南側ロータリーのイタビカズラの剪定を行いました。作業をするのには、少し暑い位でしたが、2名の対象者の参加もあり、観察官と保護司13名が参加と稻城市職員と稻城市グリーンウイルネス財団の協力を得て、手早く進める事が出来ました。参加した対象者は、楽しそうに仕事をしてくれました。お疲れ様でした。
- ③11月19日（土）今回も天候に恵まれて、サポートセンター百草台での最後の植栽を行いました。これが最後となるので、参加した皆さんの中にもいつになく力が入っていました。そして、対象者2名と初参加であるBBSの1名の参加がありました。今年は、天候の心配をしなくて良い1年でした。ご協力ありがとうございました。



□保護司と更生保護女性会との交換会

7月6日（水）に保護司会からは、栗井会長をはじめとし、各部の部長と関係者13名が、更生保護女性会からは、関戸会長・3分区の分区長と関係者が出席をしました。和気あいあいの中、多くの意見交換会が行われました。この交換会も会を重ねる毎に、車の両輪と言われる二者の歯車が上手く回り始めています。今後も一層交流と協力を深め、更生保護の為に頑張って行きたいとの思いを強くしました。

□関係機関との連携活動

11月25日（金）「コロナ禍におけるいじめ・虐待等の現状について」というテーマで、日野警察署・多摩中央警察署・八王子児童相談所・多摩児童相談所の担当者の方に出席して頂き、長引くコロナ禍におけるいじめや虐待の現状についてお話をいただきました。それぞれの立場からの悩みや、やりにくさ等も聴けました。これから保護司として考える事や、やるべき事等のヒントについてお話ししていました。今まで以上に地域に目を向けて、より良い街作りに励みたいと思います。

令和4年度 視 察 研 修 報 告

令和4年10月31日から11月1日にかけて、日野・多摩・稻城地区の視察研修を実施しました。全国旅行支援が始まり、コロナ禍で大きな影響を受けた観光業界を支援しようという時期でしたが、一方、年末にかけて新型コロナウイルス感染症の第8波が来るのではないかとの声が少くない時期もありました。そのような中、感染対策に慎重を期しながら、3分区あわせて総勢25名の保護司で、茨城方面に向けて出発しました。

地区視察研修は3年ぶりの実施であり、参加された皆様が久々の遠出に心躍る気分であったでしょうが、往きの車中では、粟井洋子会長の挨拶の後、バスが中央道から首都高に差し掛かった辺りから、対象者等への就業支援をテーマとするDVDを視聴しました。例年であれば、視聴後に車内でマイクを回して活発な意見交換が行われますが、今回は車内での発声を極力自粛し、DVD鑑賞のみの研修としました。



予定時刻より早く、水戸ドライブインに到着し、昼食を摂った後、まず、創設から124年の歴史を有する更生保護施設「有光苑」を訪問しました。

当苑の前身は、明治32年に創立された「茨城県保護会」です。これは、明治30年に孝明天皇皇后の御大葬が行われた際、多くの受刑者が赦免されたことから、当時の刑務所長が県知事に要請し、県の助成を受けて創られたものだそうです。

当苑は、矯正施設等から釈放された人の中で、出直しや更生する意欲はあっても当面の社会復帰に支障を来たしている人達に対し、生活指導や就労指導などを行っています。

施設内には居室が17室あり、うち3室は2人部屋で、収容定員は20名ですが、コロナウイルス対策のため2人部屋も単独使用しています。訪れた10月31日現在、30歳から68歳までの17名（仮釈放15名・執行猶予1名・起訴猶予1名）を収容し、居室は満杯の状況でしたが、収容率を上げるために、これまで入所の対象にならなかった人にも手を広げている状況とのことでした。

次に訪問した「茨城就業支援センター」は、全国に4か所あるセンターの中の1つで、水戸保護観察所ひたちなか駐在官事務所内にある、就農による自立を目指す者のための宿泊施設です。

当センターの入所者は主に成人男性の仮釈放者で、訪れた10月31日現在、11名が在所中でした。

入所者は6か月間に渡って、週6日、朝から夕方までの農業実習を受けます。私たちが訪問した時、入所者はみな、当センターから民間委託先の農場へ出払っており、留守になった当センター内の居室や食堂を見学させていただきました。

入所者の農業実習はハローワークの職業訓練として実施されており、毎月、給付金10万円が支給されます。法務省・厚生労働省・農林水産省との三者連携で、保護観察と職業訓練、就農支援をミックスさせたような取り組みになっています。農業職業訓練の成果ですが、当センターが開所した平成21年9月から現在まで入所者は204名、そのうち163名が訓練を終了し、87名が実際に農業従事者として就農したことです。

視察終了後は、北茨城市大津町の五浦観光ホテルへ。ホテル到着後からは、研修の進行役を研修部から総務部へとバトンタッチ。夜の懇親会は総務部のアイデアたっぷりの企画により、和気あいあいとした楽しい催となりました。また、太平洋を眺望できる、ホテル内の天然温泉で心も体も癒されました。

二日目の午前中は、ひたちなか市にある酒列（さかつら）磯前神社と大洗町にある大洗磯前神社を参拝。ともに856年に創建された由緒ある神社で、少彦名命が前者の主祭神、大名持命が後者の主祭神として祀られており、二社で一つの兄弟神社です。前者には、宝くじで高額当選された方が奉納した「幸運の亀さん」像があり、ご利益を願い、撫でている方も大勢いらっしゃいました。年末ジャンボの結果は如何だったでしょうか。

那珂湊おさかな市場で昼食・買い物の後は、かすみがうら市で柿狩りを楽しみました。もぎ取った柿は食べ放題。皆さん、童心に帰り、どの柿が美味しいか、枝になっている沢山の柿をじっくり品定めしていました。



帰りはやや渋滞に巻き込まれながらも、ほぼ予定通りに稻城市役所前、聖蹟桜ヶ丘駅前、高幡不動駅前と戻って参りました。

次回の3分区合同での地区視察研修は2年後となりますが、その頃には新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、より多くの保護司の方々と学びと懇親を深められることを切に願っています。

末筆ではございますが、今回の地区視察研修にお力添えいただきました皆様に心より感謝を申し上げます。どうも有り難うございました。

(研修部)

令和5年「新春の集い」開催

令和5年1月11日（水）京王プラザホテル多摩「白鳳」にて、来賓13名、名誉会員3名、保護司48名の出席で開催されました。

第一部の式典では、栗井会長より新年の挨拶をいただき、続けて、来賓の東京保護観察所生駒所長、藤井立川支部長、阿部多摩市長、高橋稻城市長、竹村日野市総務部長の皆様からご祝辞をいただきました。また、令和4年度の被顕彰者披露と受賞者代表として法務大臣表彰を受



けられた松原様よりお言葉をいただきました。

第二部の懇親会では、来賓の皆様からの挨拶、桐友会佐伯会長の乾杯で始まり、新任保護司の紹介・挨拶がありました。余興では、大小色とりどりの鉢花が景品である恒例のbingoゲームと、各テーブル対抗の保護司クイズ大会がおこなわれました。

新春を寿（ことほ）ぎ、参加者一同、懇親を深めることができました。
（総務部）



令和4年度「社会を明るくする運動」 作文コンテスト受賞者と協力者感謝状受彰者の紹介

作文コンテスト受賞者

【東京都保護司会連合会会長賞】

多摩市立連光寺小学校 5年 山口 佳樹『明るい社会にするために』

【奨励賞】

多摩市立多摩中学校

多摩市立東愛宕中学校

多摩市立諏訪中学校

多摩市立聖ヶ丘中学校

多摩市立鶴牧中学校

多摩市立多摩永山中学校

多摩市立落合中学校

稻城市立稻城第一中学校

稻城市立稻城第二中学校

協力者に対する感謝状受彰者

【東京都推進委員会委員長感謝状】

日野市立日野第一中学校

日野市立日野第二中学校

日野市立日野第三中学校

日野市立日野第四中学校

日野市立三沢中学校

多摩市立落合中学校

多摩市立東愛宕中学校

妙櫻寺（多摩市）

宝泉寺（多摩市）

延命寺（多摩市）

【東京保護観察所長感謝状】

日野市立七生中学校

日野市立平山中学校

日野市立大坂上中学校

情報 BOX

令和4年度 日野・多摩・稻城地区管内の動向

東京保護観察所立川支部 西尾 その子 主任保護観察官

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から丸3年を迎え、社会が大きな変容を余儀なくされたことに伴い、同感染症が対象者の処遇にも少なからず影響があったことは、令和4年版犯罪白書でも指摘されているところです。日野・多摩・稻城地区の保護司の皆様におかれましても、面接の実施方法等、コロナ前には考える必要もなかった様々なことに苦慮されたことと拝察致します。

表1は令和4年末の立川支部管内及び日野・多摩・稻城地区の保護観察事件の係属性件数です。表2は令和4年1月1日から同年12月31日までに当庁及び日野・多摩・稻城地区で新規に受理した件数です。当庁及び日野・多摩・稻城地区においては、係属性件数及び新規受理件数のいずれも、各項目で多少の増減はありますが全体として減少傾向にあります。

表3は令和4年1月1日から同年12月31日までの生活環境調整事件の係属性件数です。こちらも、ほぼ横ばいか減少傾向にあります。こうした傾向は、コロナ禍における行動制限の影響もあると思われますが、加えて、平成29年に閣議決定された再犯防止推進計画に基づき、保護司会の皆様が地方自治体と連携し、地域への働き掛けに御尽力してくださった結果が実り、更生の土壌が徐々に整いつつあるものとも考えられます。

このように、当庁管内及び日野・多摩・稻城地区の動向としては改善傾向が続いている。一方で、これは主任官の所感になりますが、令和4年末ごろから、少年の性非行の件数が緩やかに増加している点が懸念されます。コロナ禍において人と接触する機会が減少したことや、授業のオンライン化に伴う個人用タブレットの普及により様々な情報に触れる機会が増え、誤った性的な知識を身に付けてしまったなど、色々な背景を想像できますが、どのような背景があるにせよ、問題は性非行や性犯罪には必ず被害者がおり、被害者に与える心理的影響は非常に深刻であるということです。令和4年度第Ⅱ期定例研修で御説明致しましたが、これまで3号又は4号観察の対象者のみに実施してきた性犯罪者処遇プログラ

ム（現在は「性犯罪再犯防止プログラム」に改称）は、少年にも特別遵守事項で実施を義務づけることができるようになりました。幸い、この原稿を書いている令和5年2月時点では、日野・多摩・稻城地区ではプログラム受講を義務づけられた少年はありませんが、性非行や性犯罪は繰り返しやすい傾向があります。性非行や性犯罪事件の対象者を御担当の先生におかれましては、あらためて第二期定例研修の資料を御確認いただくとともに、御不明・御心配な点がございましたら、遠慮なく主任官に御相談いただきますようお願い申し上げます。また、現在、性非行（犯罪）事件を御担当いただいている先生にも、いずれ御担当いただく機会があるかもしれません。その折には、どうぞよろしくお願い致します。

性非行（犯罪）に限らず、犯罪のない暮らしやすい環境作りを目指して、今後とも保護司会や関係機関の皆様と協働し、対象者の改善更生及び再犯防止に努めていく所存です。引き続き、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【表1】保護観察事件係属性件数（令和4年12月末）

	1号 ()内は特定 少年内数	2号 ()内は特定 少年内数	3号		4号		合計
			全部実刑	一部猶予	全部猶予	一部猶予	
立川支部	288(69)	62(1)	90	6	148	63	657
日野・多摩・稻城	19(8)	5(0)	6	1	14	2	47
日 野	7(3)	3(0)	3	1	9	0	23
多 摩	7(4)	2(0)	1	0	3	1	14
稻 城	5(1)	0(0)	2	0	2	1	10

（交通短期・更生指導を除く）

【表2】保護観察新規受理件数（令和4年1月1日から同年12月31日まで）

	1号 ()内は特定 少年内数	2号 ()内は特定 少年内数	3号		4号		合計
			全部実刑	一部猶予	全部猶予	一部猶予	
立川支部	187(75)	61(1)	249	25	30	27	579
日野・多摩・稻城	11(7)	6(0)	13	2	2	1	35
日 野	4(2)	3(0)	3	1	0	0	11
多 摩	5(4)	2(0)	6	1	2	1	17
稻 城	2(1)	1(0)	4	0	0	0	7

（交通短期・更生指導を除く）

【表3】生活環境調整事件係属性件数（令和4年12月末）

	刑事施設		少年院 ()内は特定少年	合 計
	全部実刑	一部猶予		
立川支部	1,097	51	58(16)	1,206
日野・多摩・稻城	38	0	2(2)	40
日 野	20	0	0(0)	20
多 摩	14	0	0(0)	14
稻 城	4	0	2(2)	6

（更生保護施設分を含む）

■新任のご挨拶■

ご活躍を期待します

令和4年12月22日委嘱



日野分区 **大野 豪祐** (地活部)

令和4年12月から新たに保護司としての任務を授かりました大野豪祐と申します。普段は日野市平山の寺院で住職をしております。寺の宗派である天台宗には全国規模の保護司会があり、保護司については以前から伝え聞いておりました。地域における社会福祉の一助になればと考え、保護司の活動を決意いたしました。

天台宗では昭和40年代から「一隅を照らす運動」が行われています。一人一人が自分にできることを誠実に務めることによって明るい社会の実現を願う意味が込められています。「社会を明るくする運動」に通じる理念なのではないでしょうか。

宗教者として自分にできることを模索しながら、更生保護について学んでいくつもりです。よろしくお願ひいたします。

令和4年12月22日委嘱



稻城分区 **篠崎 真悟** (研修部)

私は保護司になる前は、家族経営の会社に勤めながら、稻城市の地元消防団に所属しておりました。分団長という職を経て、16年間在籍した分団を令和4年3月に退団いたしました。

なぜ、保護司になる決意を最終的にしたかと申しますと、先輩保護司である、父親に「お前もいつかは、保護司もしくは民生委員という役職をしてくれないか」と言われたのがきっかけであったと思います。

私は勉学が長けているわけでもなく、人望があるとも思われない、平凡な生活しかしてこなかった者に務まるわけがないと思っている中、鹿島分区長さん、松浦副分区長さんよりお声かけいただきました。私の様な者が少しでも、地域の方へお力になるのであればと思い保護司になることを決めました。

新参者ではございますが、どうぞ宜しくお願い致します。

退任者のご紹介

ご苦労様でした

杉江利行氏 (多摩分区)

任命: 平成19年9月17日
退任: 令和4年8月9日 (在職14年)

戸丸久恵氏 (日野分区)

任命: 平成20年9月1日
退任: 令和4年8月31日 (在職14年)

本多英二郎氏 (日野分区)

任命: 平成28年12月22日
退任: 令和4年12月21日 (在職6年)

根岸瑞代氏 (稻城分区)

任命: 令和2年12月22日
退任: 令和4年12月21日 (在職2年)



令和4年12月22日委嘱



稻城分区 **渡邊 聰** (広報部)

平成28年から1年余りドクターと2人で、多摩少年院の入院生に継続的に彼らの生活について聞き取りを行ったことが、更生保護の道に進む動機となった。入院するに至った経緯や入院生の心の変遷を伺うにつけて、この青年たちに門戸を開く、優しい社会でありたいという初心が、自分の中に強く芽生えたことを今でも覚えている。又、職場の在る自治体の保護司会の方々から頂いた数多の教えは、動機の強化に繋がったと、深く感謝している。

同年再犯防止推進法が成立したこと、立ち直り支援活動における、大きな契機となった。保護司になって、若輩かつ微力ではあるが、初心を旨に、地域があらゆる方々に優しく住みやすくなるよう、力を尽くしたい。

サポートセンター高幡台開設

サポートセンター長 土方 三男

当地区サポートセンターは令和4年12月末に日野市教育センター内に移転し、令和5年1月より運用を開始しました。

◆ 住所、連絡先、施設概要

日野市程久保550 日野市教育センター内「サポートセンター高幡台」

電話：042-593-0950 FAX：042-506-5474

1階：共用室（日野市立夢が丘小学PTAと共に） 2階：事務室、小会議室（18名まで、面接室兼）



1階 共用室



2階 事務室



2階 小会議室

◆ 交通案内

①京王線高幡不動駅から京王バスを利用する場合

- ・百草団地行（高21）・帝京大学構内行（高23）・聖蹟桜ヶ丘行（高22）「高幡台団地」下車（高幡不動駅から徒歩20分）

②聖蹟桜ヶ丘駅から京王バスを利用する場合

- ・高幡不動行（高22）「高幡台団地」下車
- ・帝京大学構内行（桜87）「百草団地南」下車、高幡不動駅前行へ乗換え

③車利用（できるだけ公共交通機関利用をお願いします）

- ・川崎街道「高幡」交差点（桜が丘方面から：左折、日野方面から：右折）
- ・「程久保橋」交差点左折し、京王線ガード下の坂を上り陸橋をくぐり抜け左折
- ・「教育センター」案内看板を左折
- ・「たかはた台保育園」脇の進入路を左折し、「教育センター入口」へ

〈案内図〉



表紙写真の説明　— 稲城市の川 —

三沢川は、神奈川県川崎市黒川の谷戸に源を発し、川崎市内及び稲城市内を南西から北東に流れ、多摩川に合流する延長約9.9kmの一級河川です。

三沢川流域では、過去に台風や大雨の度に被害がありましたが、多摩ニュータウンの開発に伴う雨水排水の処理を行うために整備が行われました。

この写真は、三沢川と桜並木です。約1.7kmに及ぶ約320本の桜は三沢川さくら回廊と呼ばれ、川の上に桜がアーチを描く形となり、市外からも多くの見物される方が訪れます。夜には桜のライトアップも行われ、昼間とは一味違う幻想的な雰囲気も楽しむことができます。また、稲城市役所付近の三沢川沿いでは、「三沢川 桜・梨の花まつり」が開催され、稲城市的観光名所にもなっています。

編集後記

保護司会だよりも、皆々様にお力添えいただいたおかげで、69回目の発行となり次号で70号を迎えます。現部員での発行も最後となりました。時節柄別れや、諸々の終了等々が多くなります。

保護司会もサポートセンターの移転があり、新春の集い開催会場の京王プラザホテル多摩も終了となりましたが、4月には新しい出会いもある事でしょう。期待と夢膨らませて前進いたしましょう。

■ サポートセンター高幡台

〒191-0042

日野市程久保550番地 日野市教育センター内

電話 042-593-0950 FAX 042-506-5474

メールアドレス : vpcocentormog@true.ocn.ne.jp